

第6回 さかい与謝野晶子 青春の短歌大会 入選作品 (1~15)

	学校名	氏名(ふりがな)	作品
1	東邦大学付属東邦高等学校	<small>ひらやま さえ</small> 平山 彩永	知らぬふりできたら少し楽だった君のやさしさ知ってしまった
2	東邦大学付属東邦高等学校	<small>おおい</small> 大井 ひなた	まだいけるまだ勝てるよと追いかけるぜったいあげないこの一点
3	東邦大学付属東邦高等学校	<small>たかはし なつき</small> 高橋 夏樹	誰もいぬ昼の校舎を風がぬけチャイムだけ鳴る意味もなく鳴る
4	東邦大学付属東邦高等学校	<small>やまだ か</small> 山田 もも夏	シトラスとミントの匂いむせかえる更衣室の中いつまでも夏
5	東邦大学付属東邦高等学校	<small>かわしま そうき</small> 川島 颯希	少しでも一緒にいたいそれだけで良かった僕の不器用な夏
6	大阪商業大学高等学校	<small>しおやま けいじ</small> 塩山 慶次	携帯の充電切れ暇になる時間も雲もスローに見える
7	大阪府立いちりつ高等学校	<small>なかい ひなた</small> 中井 陽詩	青春をしたいと嘆く帰り道それが一番青春だった
8	大阪府立いちりつ高等学校	<small>たにぐち まや</small> 谷口 真矢	笑い合うその横顔を遠くから見つめていたが手は届かない
9	大阪府立いちりつ高等学校	<small>なかむら ゆめ</small> 中村 優芽	夏休み朝昼晩とシャトル追うそんな私を宿題が追う
10	大阪府立いちりつ高等学校	<small>きむら ひな</small> 木村 緋那	もう少し完成間近の絵を前に加筆する手が止まらないのだ
11	大阪府立布施高等学校	<small>うえた みく</small> 植田 実来	期待したものではなかった三年間それでもきっと悪くはなかった
12	大阪府立布施高等学校	<small>おだ いちか</small> 織田 一伽	ラムネ瓶ビー玉片手にあなた言う取り出す前が綺麗だったと
13	大阪府立布施高等学校	<small>おおた</small> 太田 ころろ	体力の限界が来た頃に咲く大量の花に皆立ち止まる
14	北九州工業高等専門学校	<small>まつむら ゆうか</small> 松村 優花	目を擦りシート開けば謎の文字我知らぬ間に宇宙と交信
15	北九州工業高等専門学校	<small>うえた あやと</small> 上田 彩人	友の前言葉選んで嘘ひとつ心に潜む本音かくして

第6回 さかい与謝野晶子 青春の短歌大会 入選作品 (16~30)

	学校名	氏名(ふりがな) <small>しめい</small>	作品
16	北九州工業高等専門学校	<small>うえの つむぐ</small> 上野 紡	また明日未来は明日の繰り返し知らない明日探しています
17	北九州工業高等専門学校	<small>こんどう はやと</small> 近藤 颯斗	円運動 θ に惑いコスモスの花と関数共に散りゆく
18	大谷高等学校	<small>おか みなと</small> 岡 海夏人	海沿いを散歩するたび考える伊能忠敬ここにもきたか
19	大谷高等学校	<small>しみず みか</small> 清水 美花	マラソンの一番しんどい瞬間はゴール直前二十メートル
20	大阪朝鮮中高級学校	<small>りむ せいじん</small> 林 聖晋	アルバムの中でしかもう話せない君は夢追う遠いまなざし
21	大阪朝鮮中高級学校	<small>はん そり</small> 韓 咲璃	たとえ今光が無くても咲いてやる雨でも風でも枯れずにきたから
22	大阪府立金岡高等学校	<small>なかむら あきと</small> 中村 亮仁	強風に吹かれてなおもとんでいるとんぼはいまも僕らの手本
23	堺市立堺高等学校	<small>まつもと きらと</small> 松本 煌斗	スタートの笛が鳴るまで目を閉じて心の中で誰かを呼んだ
24	堺市立堺高等学校	<small>ごんなが りょう</small> 権永 涼	宿題を机に置いて寝てしまう夢の中ではがんばっている
25	堺市立堺高等学校	<small>おきた りお</small> 沖田 璃央	放課後に自転車並べ語り合う夕日の色に未来を混ぜて
26	堺市立堺高等学校	<small>にしかわ あお</small> 西川 蒼	構えれば景色が変わるこのポジション一球ごとに背負うもの増す
27	大阪府立交野高等学校	<small>かわすみ はると</small> 川隅 遥人	エラーしたあとのグラブを見つめてた誰も責めないそれがつらいよ
28	大阪府立鳳高等学校	<small>のだ ゆうき</small> 野田 侑希	ただ走る見えないゴールを追い続けてその先にあるものを目指して
29	大阪府立鳳高等学校	<small>はしの かれん</small> 橋野 夏恋	すみません迷子を探しているんです青春っていう子なんですけど
30	大阪府立鳳高等学校	<small>まつもと ゆうき</small> 松元 悠希	晴れの日も雨の日だって進んでくカゴのまがった僕の自転車

第6回 さかい与謝野晶子 青春の短歌大会 入選作品 (31~45)

	学校名	氏名(ふりがな)	作品
31	大阪府立鳳高等学校	<small>たにはら あい</small> 谷原 愛	帰り道カーブミラーに映る私ときどき好きでときどき嫌い
32	大阪府立鳳高等学校	<small>なかむら ここな</small> 中村 心奏	あの時の震えた声のその先は？晴れた空より青い気持ちで
33	大阪府立鳳高等学校	<small>わだ ゆうき</small> 和田 悠希	ひとりきりラムネを開けた音だけが夏の終わりを告げているよう
34	大阪府立泉陽高等学校	<small>おきた りく</small> 置田 莉久	ごめんねとこぼれた君の声ののち残ったものは電話のノイズ
35	大阪府立泉陽高等学校	<small>きど けんたろう</small> 城戸 健太郎	迫りくる黄色の速球まだ取れぬ伸び代だけの僕らに期待
36	大阪府立泉陽高等学校	<small>はしもと ともや</small> 橋本 和弥	終わらせぬこの一点に賭ける夏トスは誓いの弧を描いてく
37	大阪府立泉陽高等学校	<small>はっとり そうま</small> 服部 奏真	夕暮れの盤に差し込む陽の光我に差し筋おしえたまえ
38	大阪府立泉陽高等学校	<small>おおの ゆりな</small> 大野 友梨奈	靴ならば宿の玄関砂だらけ今日も一日全力だった
39	学習院女子高等科	<small>あんざい あやか</small> 安齋 綾花	数学や理科漬けの日々の社会とはサラダの中のリンゴのようだ
40	学習院女子高等科	<small>あらい まみ</small> 新井 真実	塾帰り参考書より重いのは心のどこかのもやもやしたもの
41	須磨学園高等学校	<small>やすひら さな</small> 安平 紗菜	名前さえまだ知らないのに目が合ってなぜか今日から君を探している
42	須磨学園高等学校	<small>たなか ゆい</small> 田中 結	目をこすり朝の静けさこじあけて四時の机に心を据える
43	大阪府立三国丘高等学校	<small>うえの あむ</small> 上野 愛結	夏休みずっと自然にいるみたい時間は川で課題は山
44	大阪府立三国丘高等学校	<small>きむら</small> 木村 あかり	標本箱覗いてみればクスサンの眼状紋 <small>がんじょうもん</small> がこちらをみてる
45	大阪府立三国丘高等学校	<small>さかもと ゆめ</small> 阪本 優芽	人生は山あり谷あり信号あり赤で止まらぬぼくらの春は

第6回 さかい与謝野晶子 青春の短歌大会 入選作品 (46～60)

	学校名	氏名(ふりがな) <small>しめい</small>	作品
46	大阪府立三国丘高等学校	<small>ふじた よしや</small> 藤田 佳弥	夏休み君に会えない日が積もる季節外れの大雪みたいに
47	石川県立穴水高等学校	<small>おおにし あやな</small> 大西 彩愛	最後だと思えばすべてが輝いてあの日の声や柔らかな髪
48	石川県立穴水高等学校	<small>こんどう こゆき</small> 近藤 心雪	またひとつ諦めることになるだろう ええ、でも、でも、メールをしよう
49	石川県立穴水高等学校	<small>てらにし かずま</small> 寺西 一真	森林がしめりうるおう雨の日曜君にメールをしようか窓辺で
50	大阪府立堺東高等学校	<small>くらはし かずさ</small> 倉橋 一紗	かえりみち見えた花火はなによりもことしのなつをあざやかにした
51	大阪府立狭山高等学校	<small>さわい れお</small> 沢井 零旺	慣性の法則みたいに走り出す止まれぬままに夏が過ぎてく
52	京都府立嵯峨野高等学校	<small>いしだ なおと</small> 石田 直人	きっとこの田舎ならではの閑寂が天の川を潤すのだろう
53	京都府立嵯峨野高等学校	<small>むらた みのり</small> 村田 実紀	環状線人の動きがはやすぎる京のリズムなにわで途絶える
54	京都府立嵯峨野高等学校	<small>もり すずね</small> 森 涼音	最寄り駅近づくほどに眠くなるこの現象に名前をつけたい
55	大阪府立泉北高等学校	<small>かわばた はると</small> 川端 陽人	<small>あす</small> 明日の朝待ち続けてた十八は目覚めてもまた何気ない日々 <small>せいじん</small>
56	大阪府立泉北高等学校	<small>やてら ゆうすけ</small> 矢寺 佑輔	昵懇な先輩後輩科学部ベンゼン環より強いキズナで <small>サイエンス</small>
57	柳井学園高等学校	<small>なかしま ゆい</small> 中島 結良	俗世から米が消えても目減り無し弁当に詰まる母の愛
58	仙台市立仙台高等学校	<small>たちばな しずく</small> 立花 雫	少しずつ心ちぎれる日は多分いわしの群れに食べられている
59	茨城県取手第一高等学校	<small>のぐち かずま</small> 野口 和磨	上映後スマホをひらきレビュー書くポップコーンはうまかった
60	大阪府立農芸高等学校	<small>おくむら かいと</small> 奥村 海音	青空にノートを閉じたその瞬間広がる夏が待っていたんだ

第6回 さかい与謝野晶子 青春の短歌大会 入選作品 (61~73)

	学校名	氏名(ふりがな) <small>しめい</small>	作品
61	茨城県取手第一高等学校	<small>のぐち かずま</small> 野口 和磨	上映後スマホをひらきレビュー書くポップコーンはうまかった
62	大阪府立農芸高等学校	<small>おくむら かいと</small> 奥村 海音	青空にノートを閉じたその瞬間広がる夏が待っていたんだ
63	大阪学院大学高等学校	<small>きた じ ゆうな</small> 北治 結菜	高校で見せない顔が普通になる地元の夏はほんとの自分
64	大阪府立住吉高等学校	<small>おおにし あやの</small> 大西 綾乃	「きいてみる？」そう言う君が手にしてた半分の音わたしにくれた
65	帝塚山高等学校	<small>きんじょう のどか</small> 金城 和花	あなたには知られたくないことばかりけどあなたのことはもっと知りたい
66	帝塚山高等学校	<small>いいた ゆう</small> 飯田 結羽	忘れようブルーハワイを流し込む少しは青くなれたらどうか
67	神奈川県立光陵高等学校	<small>にしむら しょうたろう</small> 西村 祥太郎	人間の一番純粋な部分が童話と聞いて読むドグラ・マグラ
68	神奈川県立光陵高等学校	<small>おおた みく</small> 太田 実来	路地裏の小さな主張落書きに散らかったモラトリアムの果て
69	大阪府立富田林高等学校	<small>いけだ しゆん</small> 池田 隼	敗北を噛みしめている私と違いうっとうしいほど光る太陽
70	関西大倉高等学校	<small>こまつ ゆづき</small> 小松 柚月	目の前を通りすぎてく特急に映る姿は十五の私
71	関西大倉高等学校	<small>もう たけし</small> 孟子傑	気がないのに僕にほほえむあの人を女神か悪魔 <small>なん</small> 何と呼ぼうか
72	関西大倉高等学校	<small>ふかの さや</small> 深野 早絢	ベランダで彼女が吐いた白い息ため息なのかペチュニアなのか
73	関西大倉高等学校	<small>すずき ほのか</small> 鈴木 穂乃花	すいこんだ朝の空気をフルーツへ一番乗りの音楽室で